

あいち交通ビジョン（案）のポイント

1 策定趣旨

リニア中央新幹線の開業などを見据え、2017年3月に策定した「あいち公共交通ビジョン」（取組期間：2017年度－2021年度）が今年度末で満了することから、状況の変化に柔軟かつ適切に対応していくため、2026年度までに取り組む施策の方向性を示す「あいち交通ビジョン」を策定

2 位置づけ

県の総合的な計画である「あいちビジョン2030」の個別計画として、交通分野で取り組む施策の方向性を示し、国・県・市町村・交通事業者・県民を始め関係者の連携した取組を促進する。

3 取組期間

中長期的視点として2040年頃を展望しつつ、2022年度から2026年度までの5年間

4 概要

（1）今回の改訂のポイント

- 新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、県民生活を支える地域の足を「まもる」取組を施策の方向性の一番目に掲げる。
- 高齢者の移動手段の確保など、これまでの施策の継続と共に、MaaSやデマンド交通等の新しい輸送サービスの推進、ジブリパーク開業など、現行ビジョン策定以降に生じた社会情勢の変化や課題に対応する。
- 鉄道・バス・タクシーに代表される従来の公共交通に加え、新しい輸送サービスの推進を図り、地域の移動環境を良くしていくことを目指し、名称を「あいち交通ビジョン」と変更する。

（2）目指すべき姿

危機を乗り越え、輝く未来へつなぐ あいちの交通
～モビリティ先進県を目指して～

（3）施策の方向性

1 まもる

地域の安全な移動手段を将来にわたって確保・維持し、県民生活を支える地域の足を「まもる」取組を進めます。

2 たかめる

リニア中央新幹線の開業効果を活かし、国際競争力を強化し、地域の活力を「たかめる」取組を進めます。

3 ひきつける

本県の活性化につながる国内外からの観光客を「ひきつける」取組を進めます。

4 つなぐ

魅力にあふれ、快適に暮らすことのできるまちづくりに向け、人とまちを「つなぐ」取組を進めます。

5 へらす

脱炭素社会の実現を目指し、環境負荷を「へらす」取組を進めます。